



地域と病院・職員同士の情報共有・情報交換

JCHONEWS



- 03 千葉病院オープン！
- 04 ONE JCHO
(理事長訪問)
- 06 役員メッセージ
- 07 役員体制2024
- 08 新任病院長2024
- 10 ジュニアメディカルラリー
(四日市羽津医療センター)
- 11 業務改善ポスター賞
(滋賀病院)
- 12 日本薬学会シンポジウム
(若狭高浜病院)
- 13 病院機能評価
(日本医療機能評価機構)
- 14 総合診療医
(若狭高浜病院)



《屋敷理事、人事異動 2024年6月29日付：退任》

屋敷理事、お疲れ様でございました。
新型コロナウイルス感染拡大の最中から収束傾向後、各病院の経営支援、経営強化に東奔西走。さらに年明けには能登半島地震での対応など、2年間は本部の司令塔として息つく暇もなかったかと思います。
経営面で厳しさが増す中、次の中期経営計画において、徹底した経営シミュレーションを行い、法人の目指すべき骨太の方向性を示してくださいました。
信念のある、そして柔軟性も兼ね備えた頼れる存在でした。
新天地における一層のご活躍を祈念いたします。



惜別の涙に暮れる



2024年3月1日、JCHO千葉病院は、 病床数160床でオープンしました

特色である人工透析とその合併症の治療を実施する千葉県有数の病院です。今後、旧病院を取り壊し秋にはグランドオープンします。
急性期から在宅に至る一連の医療が切れ目なく受けられるよう、付属の老人保健施設と連携して、地域住民に信頼される病院を目指し、職員全体で取り組みます。



新しい健診バスも納車されました！
併せて新築された
千葉病院健診センターにも注目してください！

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



滋賀病院



職員一人ひとりの総合力を向上させ、
患者さん、地域、職員の3つの満足（三方良しの精神）を大切
にする地域急性期病院をめざしています

大阪病院



私たちの Purpose、「より最適な医療と温かいこころ
で“あなた”と“地域”を支えます」

神戸中央病院



急性期医療を中軸に附属施設（健管、老健、
訪看）とともに神戸市北部の住民の健康を
守ります！

星ヶ丘医療センター

チーム星ヶ丘
若い力を集結し地域で信頼される病院
No.1 を目指して全開でがんばります！！



さいたま北部医療センター



さいたま市北部地域における地域包括ケアの中核的病院として
医療と介護の架け橋の役割を担っております

東京山手メディカルセンター



私たちは、患者さんの良質で安全な医療の求めに「技」と「心」
で応えるため、「接遇選手権」を行うなど患者サービスに一層
の力をいれて地域医療を支えています

千葉大学



千葉大学 横手学長を表敬訪問



毎回、現場のみなさんの生の声を直接
聞くことができ、JCHOへの熱い思い
をひしひしと感じています！
デジタル化の推進・人事異動に関する
こと、さらにはさまざまなアイデアが
飛び出し、毎回楽しみです！
みなさんとの対話を通じて、さらに働
きやすく愛着の持てるJCHOにするた
めに頑張ります、一緒に課題を克服し
乗り越えていきましょう！

役員メッセージ

情報システム担当理事

佐藤 秀暢



JCHO-DXを進めて参ります！

JCHOは現在、組織発足時から長い間使ってきたネットワーク基盤を更新し、JCHO総合情報ネットワークシステム（利用者認証・メール・ポータル等）の更改準備を進めています。一方で政府は医療DXと称して、保険証のオンライン資格確認・電子処方箋・電子カルテ情報共有サービスの構築を推進しています。

JCHOでは、政府の医療DXを肅々と進めつつ、アクションプランにも掲げられている通り、現場目線でJCHO-DXを推進していく所存です。

JCHO-DX推進にあたり、プロジェクトチームを発足し、身近なアイデアを吸上げ、実行する上での課題を整理していきます。あまり大上段に構えずに、事業の改革や業務の改善のためにデジタル技術が活かせる場面を探すところからのスモールスタートとします。

これまでの殻を打ち破り、組織の風通しを良くするといった副次効果を生むためにもDXを進めて行きます。皆さんからのアイデアもポータルを通じて募集します。閃きや着想が湧いた時には是非投稿をお願いします。

組織全体で事業や仕事のやり方を見つめ直して、魅力ある病院作りを目指していきましょう。



2024年度役員体制（2024年4月現在）

⑥ 島田 陽子 理事一言メッセージ

“温故創新”



③ 山本 圭子 理事一言メッセージ

“一期一会”

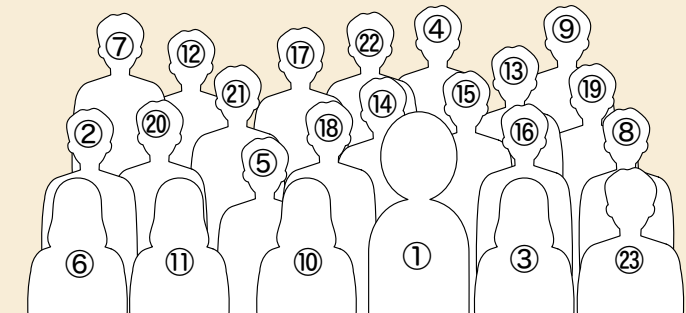


④ 今泉 弘 理事一言メッセージ

“不撓不屈”



- | | | |
|---------|----------|----------|
| ① 山本 修一 | ⑨ 長郷 国彦 | ⑬ 島田 信也 |
| ② 屋敷 次郎 | ⑩ 伊藤 由希子 | ⑭ 小池 雅彦 |
| ③ 山本 圭子 | ⑪ 伊藤 典子 | ⑮ 赤倉 功一郎 |
| ④ 今泉 弘 | ⑫ 石尾 肇 | ⑯ 後藤 百万 |
| ⑤ 佐藤 秀暢 | ⑬ 牧 健太郎 | ⑰ 松本 圭吾 |
| ⑥ 島田 陽子 | ⑭ 徳岡 晃一郎 | ⑱ 内山 明彦 |
| ⑦ 内藤 浩 | ⑮ 関根 信夫 | ⑲ 水島 藤一郎 |
| ⑧ 西田 俊朗 | ⑯ 村上 栄一 | |



■ 理事 ■ 非常勤理事 ■ 監事 ■ 特任補佐 ■ 地区理事補佐 ■ 顧問

新任病院長 JCHO 2024



山本 隆行
(四日市羽津医療センター)



牛嶋 公生
(久留米総合病院)

薬師寺 俊剛
(人吉医療センター)

高田 泰次
(大和郡山病院)

辻 晋吾
(大阪みなと中央病院)

赤倉 功一郎
(三島総合病院)

星地 亜都司
(湯河原病院)

今崎 貴生
(相模野病院)

國崎 主税
(横浜保土ヶ谷中央病院)

児玉 隆夫
(埼玉メディカルセンター)

鈴木 真一
(二本松病院)

【新体制で飛躍の年に！】：山本 修一

2024年はJCHO発足10周年になります。今年も新しく気鋭の病院長11名をお迎えし、期待に胸が膨らんでいます。本部の理事体制の強化、3地区への再編による地区機能の強化と合わせて大いに前進する一年としていきましょう。

私たちはこれまで多くの壁を突破し、多くのことを達成してきました。しかし、次の10年は人口減少がいよいよ顕著になるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わります。生き残りをかけて今まで以上に厳しい挑戦を受けて立たねばなりません。新しい体制はまさに力を合わせて挑戦を受けて立ち、地域からも職員からも愛される病院として勝ち残っていくためのパワーの源泉なのです。

Action Plan 2024/2025

～ JCHO 全体にとっての戦略目標です！みんなで達成しましょう！～

1. 良質な医療提供の拡充
2. 「教育の JCHO」の展開
3. 病院の健全経営の支援
4. 中長期的な法人財務計画の策定
5. 現場目線での情報システム整備
6. コミュニケーション戦略の拡充

よっかいち ジュニアメディカルラリー



JCHO四日市羽津医療センター
HCU副看護師長
伊藤 香菜子

ジュニアメディカルラリーは、
急病・事故・災害時に必要な知識や技術をまさに臨場感をもって学ぶイベントで、
対象を高校生に限定するものは先駆的です。ラリー当日はJCHO中京病院をはじめ、
全14病院・4消防機関・2施設から127名のスタッフの協力を得て、事前に講習を
受けた高校生56名が、リアルに再現された心肺停止や窒息、交通事故の場面で実際
の手技・処置行いました。
参加者は、有事の際に活躍できる人材になっただけではなく、地域貢献や医療従事
者層の増加に繋がる可能性があり、今後も継続して開催していきたいと思います。



JCHO滋賀病院



チーム名：業務改善『眼からウロコ』

優秀ポスター賞

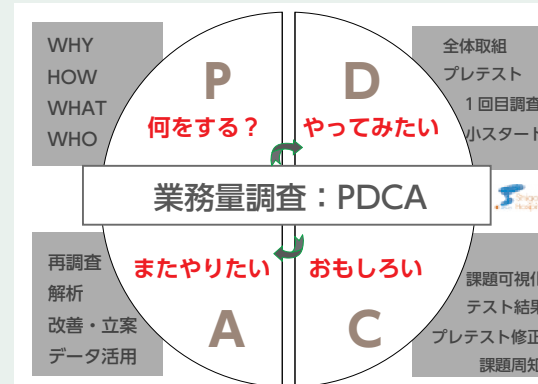
看護業務量の可視化への取り組み
—適正な労務管理を目指して—

主看護師長 田崎 弘美

看護業務の効率化と改善の取り組み、適正な労務管理を実践するために業務量調査結果の活用に取り組みました。調査結果の入力を一元化し、入力するシート(SGMRシート)を開発しました。業務量によって色分けされた一覧表(SGMRマッピング)や「時間集計グラフ」「項目集計グラフ」から、職種別、ラダー別の傾向が明確になり、業務改善や教育活動に生かしています。看護部だけでなく、医師、事務部門、コメディカル部門もSGMRシートによる業務量調査を行いました。これからも調査を継続し、病院全体で業務改善に取り組んでいきます。

病院長より

働き方改革の一環として、現状の業務量を可視化し、分析したことは大変有意義な取り組みであったと思います。今後、他部署へ応用し、さらなる業務改善につながることを期待します。



日本薬学会シンポジウム

プライマリケア視点からの
病院薬剤師の役割とは？JCHO若狭高浜病院薬剤部
主任薬剤師
野田 学

先日開催されました日本薬学会第144年会のシンポジウムにて「プライマリケア視点からの病院薬剤師の役割」という題でお話しさせていただきました。

プライマリケアの5つの理念(近接性、包括性、協調性、継続性、責任性)から我々の役割を考えると、継続性の観点からは、入退院をシームレスに行う役割があり、保険薬局等との連携が重要です。また協調性の観点からは、地域住民や地域の他職種との関わりも重要であり、積極的に病院から飛び出て交流することも必要でしょう。



本部薬事専門職コメント

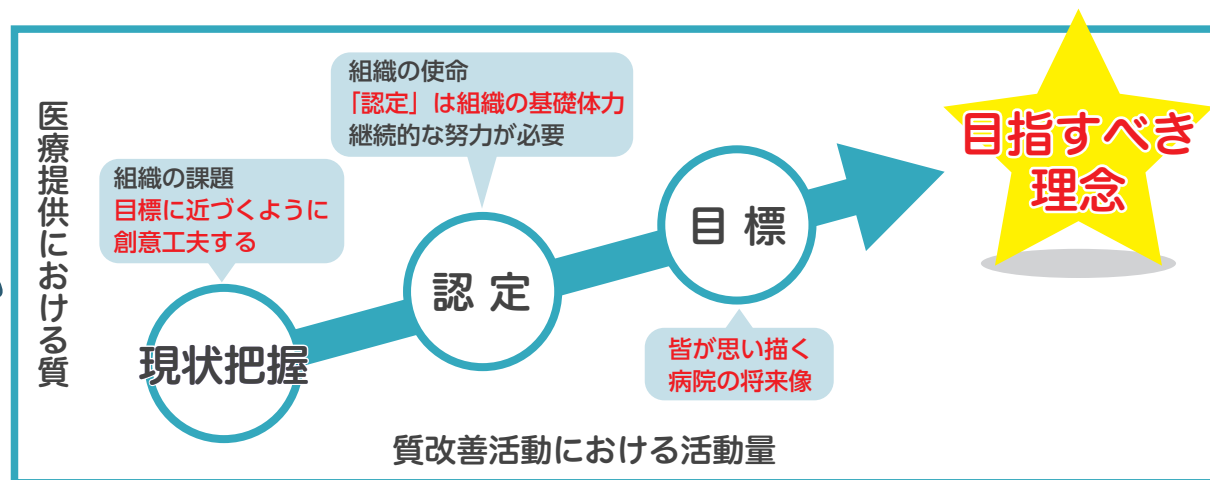
病院薬剤師として総合診療医との連携や地域住民向けの積極的な医療支援活動は、今後のJCHO薬剤師の在り方として重要と感じました！

片山 歳也

病院機能評価
受審の特徴公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価事業推進部
支援課 坂入 宏樹

JCQHC 公式サイト

病院機能評価(機能評価)は、病院の質改善活動を支援するツールです。
認定はあくまで病院が目指すべき理念や目標を達成するステップの一つであり、組織横断的かつ継続的な質改善活動に取り組んでいただくためのものです。
現在の機能評価は、監査的な評価ではなく、受審の過程で明確になった課題の改善に向けて病院と評価機構で一緒に考えることを目指しています。



～第2世代(～2012年)

体制・規定・手順書・マニュアルなど、構造的な側面を中心に組織的な活動状況

体制の整備 / 規程の整備
(ストラクチャー)

機能の発揮 / 組織的活動
(プロセス)

活動成果
(アウトカム / 質改善)

第3世代(2013年～)

臨床の現場で展開される診療・ケア、業務の流れなど、活動内容に重点を置いた確認

体制の整備 / 規程の整備
(ストラクチャー)

(プロセス)
体制の整備 / 規程の整備

活動成果
(アウトカム / 質改善)

JCHOで 育成する 総合診療医



はま♡な一す
JCHO 若狭高浜病院マスコット

地域医療の未来を担う「総合診療医の育成」こそ 我々の使命であり喜び！

JCHO若狭高浜病院 海透優太（整形外科医長/臨床研修センター長）・清水海斗（内科）
安原大生・村山公介（福井大学医学部地域プライマリケア講座助教）

高齢化の進む地域の小病院だからこそ
「老年医学」
「慢性臓器障害」
「地域医療機関のハブ」を3本柱

疾患を診るだけでなく、疾患を持つ人の人生を豊かにする医療を提供する意識を高めることができていると感じています。

自宅生活と医療を繋ぐ機関として

急性期病院での診療情報を集約してハブとなり、亜急性期から慢性期の患者に必要な医療のグラデーションを「見える化」する役割を果たしています。

好ましくない臨床イベントに直面した時には

老年医学の観点で問題点を把握し、多職種で評価介入も行うことで患者の価値観に配慮した医療の個別化を図っています。

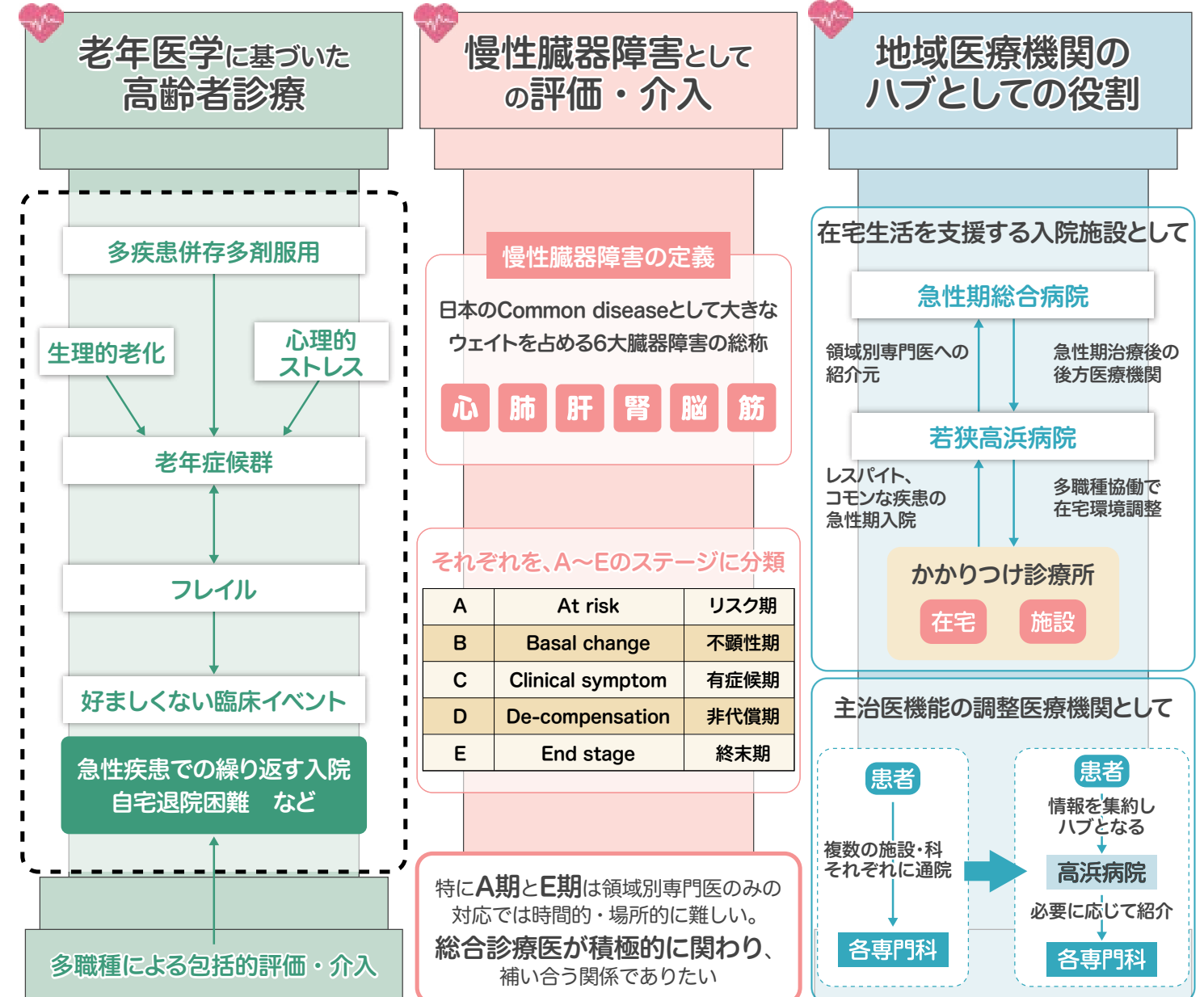
複数の慢性臓器障害を抱える高齢者に対しては

各臓器障害のステージ分類を行うことで疾患管理の優先順位を定めることで、医療が患者負担になりすぎず適切に管理されている状態に調整します。

実臨床を通じて多職種連携がこの3本柱を強化することを実感し

カンファレンスの運営や多職種教育の実践を通して協働システムを整備する重要性を理解するきっかけになっています。

若狭高浜病院の総合診療医に重要な3本柱



医心伝心

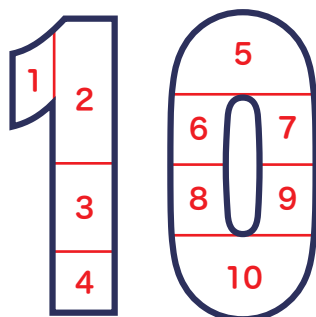
広報文書課

JCHOは本年「10周年」を迎えました。

10年間で育てた私たちの絆、さらに次の10年へ向かい、広報誌「JCHO NEWS」をわかりやすい表現方法と親しみやすいデザインで情報を発信するために、紙面サイズを一新し、視覚的にも読みやすくしました。

今期の「JCHO NEWS」表紙では、10周年を記念して【10の数字に10枚の写真】をメインビジュアルとして採用していきます。つきましては、思い出の写真・各種イベント・行事・10周年を象徴するようなイメージ写真を募集します。

各病院・施設職員のみなさまにおきましては、ぜひ投稿いただけますと幸いです。



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization



本部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



地域と共に10周年！JCHOは、これからも皆さまと一緒に歩み続けます！



今年は仙台！
熱烈開催準備中！